

白山山系緑の回廊

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・富山森林管理署、飛騨森林管理署 近畿中国森林管理局・福井森林管理署、石川森林管理署
所在地	富山県南砺市、岐阜県高山市・大野郡白川村 福井県大野市・勝山市、石川県白山市・金沢市
面積	42,867ha（中部:23,517ha、近畿中国:19,350ha）
設定年	平成14年3月設定
保護林の概要 （設定目的）	富山、岐阜、石川、福井の4県にまたがる白山山系は、庄川、手取川、九頭竜川、長良川等の源流であり、中部地区の貴重な水源地域として我々の生活に重要な役割を果たしているのみならず、原生的な天然林が広範囲で残存しており、全国でも西限とされる植物が多く分布するなど貴重な自然環境を有する地域として位置づけられている。連結する保護林は、白山森林生態系保護地域、大白川ドロノキ遺伝資源希少個体群保護林、犀川源流生物群集保護林、千丈平生物群集保護林、嵐谷天然スギ希少個体群保護林、釈迦ヶ岳ブナ・ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林、以上の7箇所、17,590haであり、緑の回廊と保護林との合計面積は60,457haである。



ニホンカモシカ



オオルリ

モニタリング調査の概要

実施年度	令和7年度
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・森林概況調査/森林詳細調査 樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況調査 ・動物調査(哺乳類)/動物調査(鳥類) 野生生物の生息状況 ・その他の調査等 資料調査、聞き取り調査
調査手法	<p>森林概況調査として調査ルートを設定し、林分の発達段階や病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況等の森林の概況を把握する。</p> <p>森林詳細調査として調査プロットを5箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。</p> <p>動物調査として自動撮影カメラやスポットセンサス法を用いて、哺乳類や鳥類の生息状況を把握する。</p>
結果概要	<p>ブナの後継樹の成長が確認され、森林の健全性を損なう事象は確認されていない。</p> <p>ツキノワグマやカモシカ等が生息しており、猛禽類～草地性の種まで広く確認され、多様な種が生息している。</p> <p>ただし、林道や登山道を中心にニホンジカの痕跡が多数確認されており、撮影頻度が増加していることから、生息動向を注視する。</p>